

会議概要

会議名	第5回鹿児島市総合計画審議会
日時	令和3年6月4日（金）16時00分～18時00分
場所	市役所みなと大通り別館6階 会議室
出席者	鹿児島市総合計画審議会委員 ※15名（欠席5名）
市出席者	事務局： 企画財政局長、企画部長、政策企画課長
会次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 会議 <ol style="list-style-type: none"> （1）基本構想（案）・前期基本計画（素案）等について （2）起草委員会について （3）次回の会議開催について （4）その他
主な意見等	<ol style="list-style-type: none"> 1 基本構想（案）・前期基本計画（素案）等について <ul style="list-style-type: none"> ・これから10年先の鹿児島を描いていくにあたって、限られた行政資源・財源の中で、鹿児島市の意思というもののある程度示すのが、重点プロジェクトであるが、市民目線で分かるようにしてはどうか。 ・コミュニティの重要性や、行政だけでなく市民でできることは市民が実行していくということ、これはこの先10年間を見据えるにあたって非常に重要なポイントだと思う。 ・情報格差が出てくると、情報の格差が教育の格差に、教育の格差が経済の格差につながってくる。鹿児島市が今後、都市として成長していくには、あらゆる分野でICTを重点的に活用していくべきだと思う。 ・高校卒業と同時に県外に就職した人たちもいるが、そういった人たちが楽しい・帰ってきていたい・鹿児島に残りたいと思ってもらえる鹿児島を創っていきたい。 ・市民も職員も、みんなが市の資源の発信者、広報者という意識ができれば理想的。 ・市民同士のつながりや絆に加え、他のまちとの交流がより大切になってくると思う。来てもらうだけでなく、市民も他のまちに足を運びつつ、体も心（情報）も「往来」させ、様々な機会に、他のまちを巻き込み、共同で事を為す「開かれたマインド」を大切にしたい。 ・この計画ができたときに、これを実行するのは、行政だけではなくて、民間や地域コミュニティなど、市民含めて全員で連携して取り組むべきものだと思う。地域の課題は複雑に絡み合っており、いろんなセクターが連携して取り組む必要がある。一人ひとりが当事者意識を持って計画を主体的に取り組んでいくことが大事だと思う。